



湖北森林計画区における 次期計画の検討方向

奥伊吹国有林のスキー場利用(米原市)

林野庁 近畿中国森林管理局
滋賀森林管理署

次期計画の検討方向

次期計画の検討方向

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域における産業振興及び住民福祉の向上への寄与

国有林の三つの基本方針に基づき、各事業
・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

次期計画の検討方向

また、令和5年10月に閣議決定された「全国森林計画」、令和5年12月に策定された「国有林野の管理経営に関する基本計画」を踏まえ計画する考え。

その中において、山地災害危険地区等の災害リスクの高い区域を回避し、林地生産力や地形等の自然条件、路網整備状況等の社会的条件から、「特に効率的な施業を推進する森林」を設定し、造林の省力化・低コスト化や生産性向上を図りつつ、計画的な主伐・再造林、重点的な路網整備等を推進していきます。

次期計画の検討方向

さらに、次期計画において、公益的機能の維持増進に関して、次の3つの取組について重点的に計画

1 林地保全に配慮した森林施業の推進

→山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

2 育成複層林施業の推進

→水源涵^{かん}養タイプ的人工林について「複層林施業群」の比率を高かめる（人工林の複層林）

→人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

3 自然度の高い森林の保全

→保護林周辺の自然度の高い森林に係る見直し

1 林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

具体的には、

- 山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。
- 山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする



山地災害危険地区の3区分

個々の国有林野を重点的に発揮させるべき機能によって5つのタイプに類型化し、それぞれの機能類型区分ごとに公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を行います。

山地災害防止タイプ

土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林で、**山地災害危険地区等**の森林が該当



自然維持タイプ

原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林で**保護林**や**保護林に準じる森林**等が該当



森林空間利用タイプ

国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林で、**レクリエーションの森**等が該当



快適環境形成タイプ

騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林で、**住宅地との緩衝帯**となる森林等が該当



^{かん}水源涵養タイプ

洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林が該当し、**5つの施業群**に分類し管理



2 育成複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる森林の誘導目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、育成複層林への誘導を推進

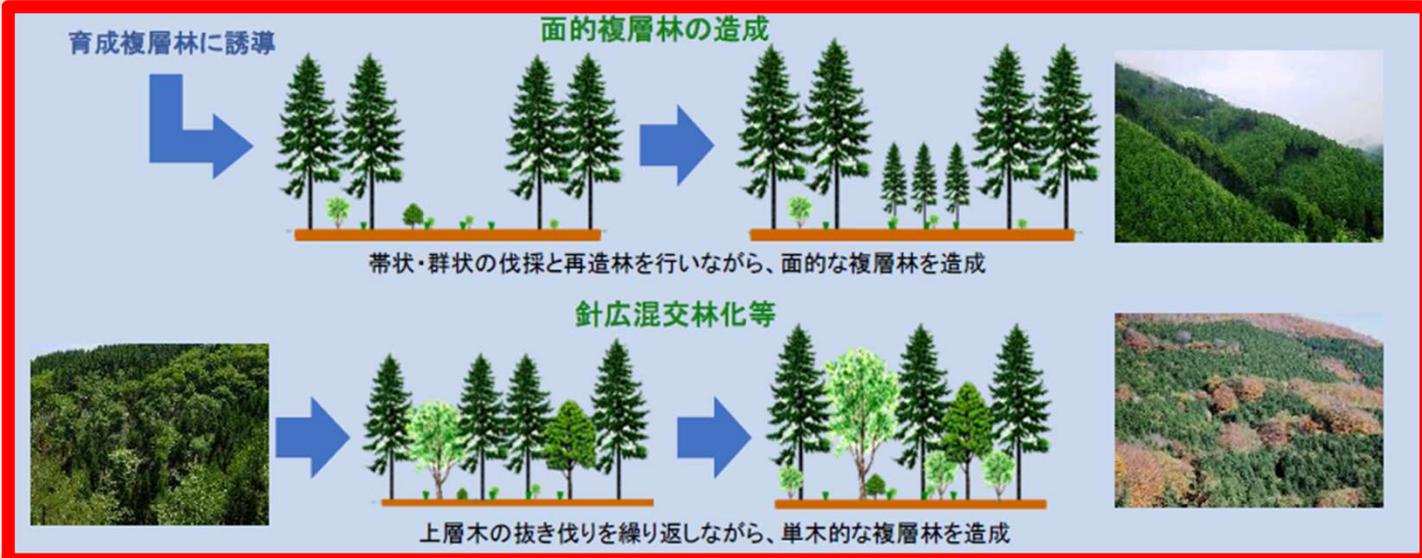


基本計画に掲げる森林の誘導目標

単位：万ha

	令和2年 (現況)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
育成単層林	1,010	1,000	990
育成複層林	110	130	150
天然生林	1,380	1,370	1,360

育成複層林への誘導目標
5年間で20万ha(4万ha/年)



天然生林から
育成複層林に誘導

ナラ枯れ予防や放置された里山林の整備等



3 自然度の高い森林の保全

保護林周辺や奥山などに分布している自然度が比較的に高い森林については、今年度実施中の保護林モニタリング調査の結果等を踏まえ、適切な保全管理の対象と位置付けて自然維持タイプへの変更等を検討します。



上谷山生物群集保護林



キンコウカ

三国山湿原植物希少個体群保護林

現行計画は別添を参照

【湖北森林計画区位置図】



(該当市町)

長浜市、高島市、米原市、甲良町、
多賀町

- 湖北森林計画区は滋賀県北部に位置し、国有林野は福井県境及び岐阜県境付近に比較的大きな団地があり、琵琶湖周辺に小面積の団地が点在
- 森林の総面積105千haのうち国有林野は10千ha（10%）
- 東部に位置する奥伊吹国有林は立地条件が良く、スキーやハイキング等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として多くの人々が利用。
北部に位置する上谷山国有林に保護林や緑の回廊を設定し、森林生態系の保護・保全を図る。

森林資源の状況

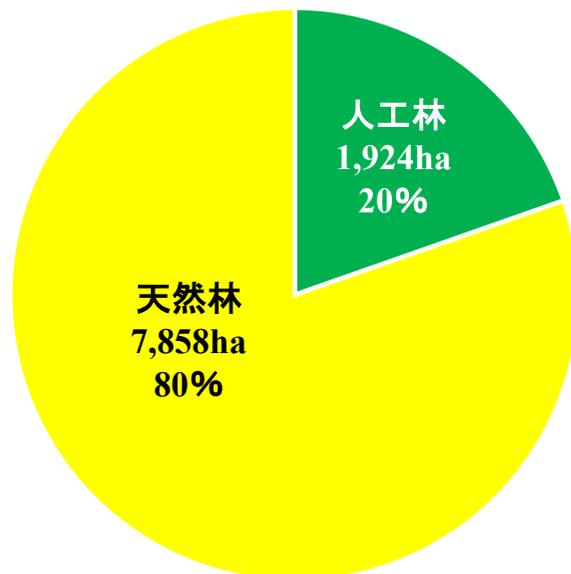
○面積割合は人工林が20%、天然林が80%

○人工林の蓄積割合は、スギ56%、ヒノキ20%

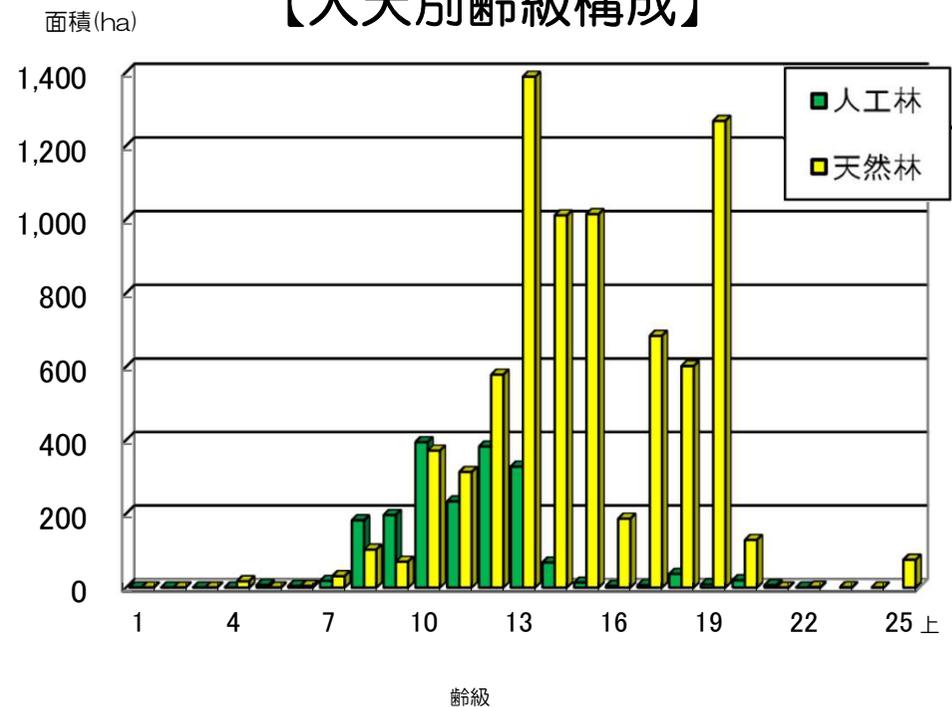
○人工林の齢級は10齢級から13齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【人工林・天然林別の面積割合】



【人天別齢級構成】

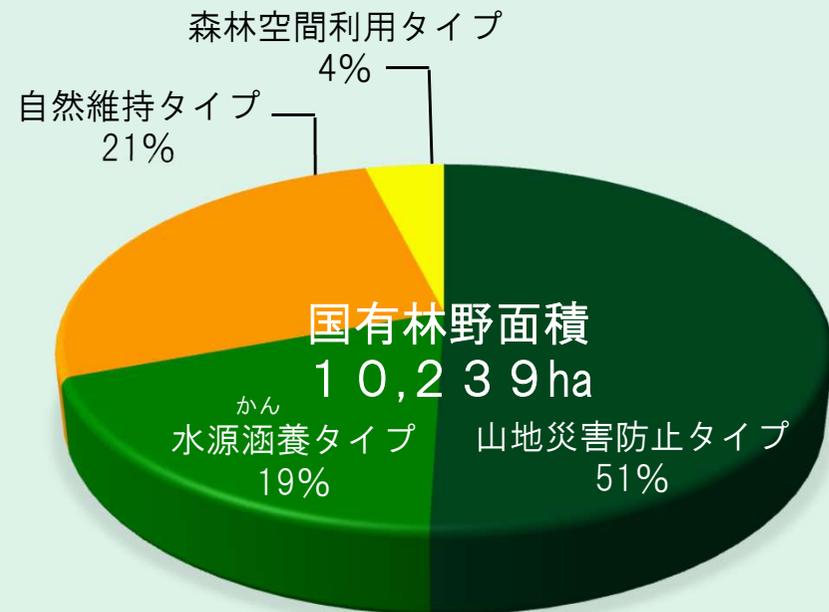


機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止タイプ	5,223	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持タイプ	2,721	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用タイプ	359	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成タイプ		騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
<small>かん</small> 水源涵養タイプ	1,936	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】



主要事業

(現行計画量：R2～R6年度)

• 伐採量

	現行計画量	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	—	—
間伐	406	40,410

(事業実績：R2～R4年度)

	事業実績	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	—	—
間伐	140	27,878

• 更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
2	—

事業実績 (ha)	
人工造林	天然更新
2	—

• 保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
6	—	—

事業実績 (ha)		
下刈	除伐	枝打
—	—	—

主要事業

(現行計画量：R2～R6年度)

- 林道

現行計画量		
	開設 (m)	改良 (箇所)
数量	—	6

(事業実績：R2～R4年度)

事業実績		
	開設 (m)	改良 (箇所)
数量	—	6

- 治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	26
保安林整備 (ha)	145

事業実績	
保全施設 (箇所)	2
保安林整備 (ha)	37

公益的機能の維持増進

国土の保全

○保安林及び治山施設の整備

山地災害防止機能や水源涵養機能等を高度に発揮させるため、保安林を配備するとともに、保安林の機能を高めるための治山事業を実施しています。

土砂流出防備保安林



城山国有林（高島市）

保安林の指定状況（H30年度末）

保安林の種類	面積(ha)
水源かん養保安林	8,084
土砂流出防備保安林	1,578
風致保安林	4

※ 保安林種が重複する箇所がある

国土の保全

○保安林及び治山施設の整備

治山施設（溪間工）



城山国有林（高島市）

治山施設（山腹工）



宮ノ前国有林（高島市）

原生的な天然林等の保護

○保護林

2箇所を設定しており、モニタリング調査を定期的を実施

上谷山生物群集保護林

三国山湿原植物
希少個体群保護林

上谷山生物群集保護林



上谷山国有林（長浜市）



山田山国有林（高島市）



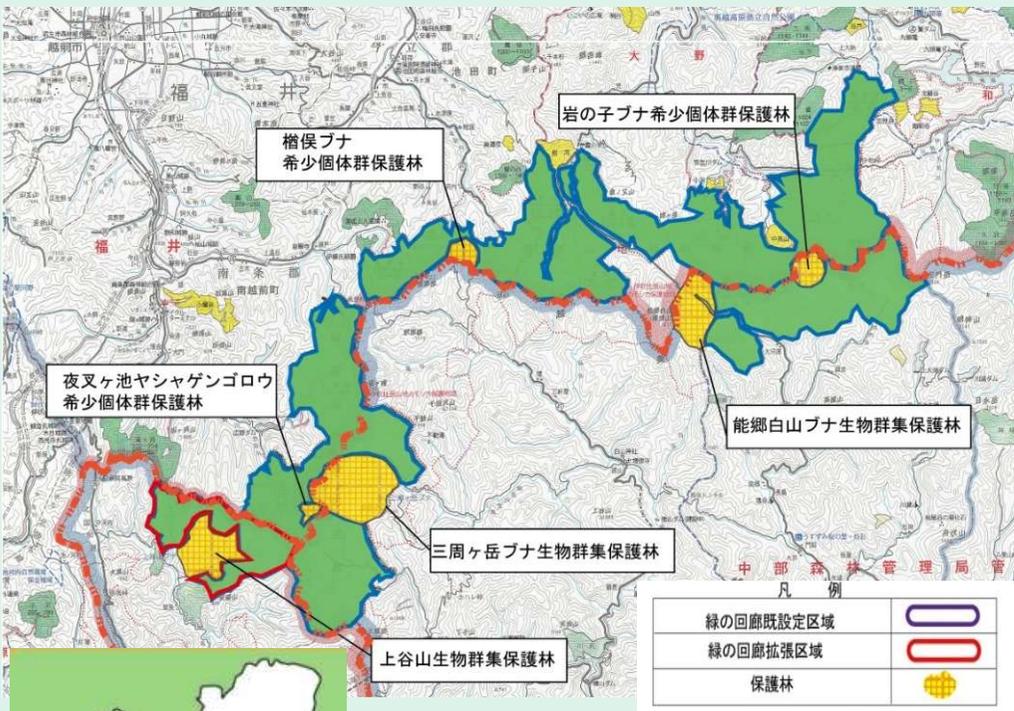
三国山湿原植物希少個体群保護林

種類	名称	特徴等	面積
生物群集保護林	上谷山生物群集保護林	海拔500mからブナ・ミズナラが優占的かつ広範囲に分布し、巨木が生育している植物群落の保護	573.74ha
希少個体群保護林	三国山湿原植物希少個体群保護林	この地区が生育の西限となる希少な湿原植物群落の保護（キンコウカ外）	30.86ha

生物多様性の保全

○緑の回廊（越美山地緑の回廊）

保護林を中心とした、野生動植物の生息・生育地の広域的なつながりを確保することにより森林生態系をより効果的に保全



上谷山国有林（長浜市）



名称	延長(km)	面積(ha)	備考
越美山地緑の回廊	6	2,011	越美山地緑の回廊全体 66km 24,489ha

鳥獣被害への対応

○ニホンジカによる森林被害への対策（捕獲事業）

近年ニホンジカの食害が深刻化し、各地で生態系や農林業への被害が生じていることから、地域社会等と連携した個体数調整を推進しています。

また、管内の自治体、鳥獣害対策協議会、猟友会等に対し、協定に基づくワナの貸与や効率的な捕獲方法の講習等の支援を実施しているところです。

鳥獣被害対策の実施状況 (R4年度)

ニホンジカの捕獲頭数	204 頭
協定の締結	3 団体



奥伊吹国有林（米原市）

林産物の持続的かつ計画的な供給

林産物（木材）の安定供給 ～ 資源の循環利用 ～

本計画区では、主に60年生以下の林分で間伐を行っており、間引いた樹木を有効利用する観点から、間引きを直線的に行う列状間伐を実施し、間伐材の効率的な搬出を実施

プロセッサによる造材作業



令和2年度～4年度実行状況

主伐	—	—
間伐	139ha	27,878m ³
植栽本数	4,728本	
(うちコンテナ苗)	4,728本	

笹ヶ峰国有林（高島市）

林産物(木材)の供給

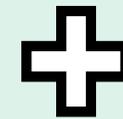
～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材全てが間伐材
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用

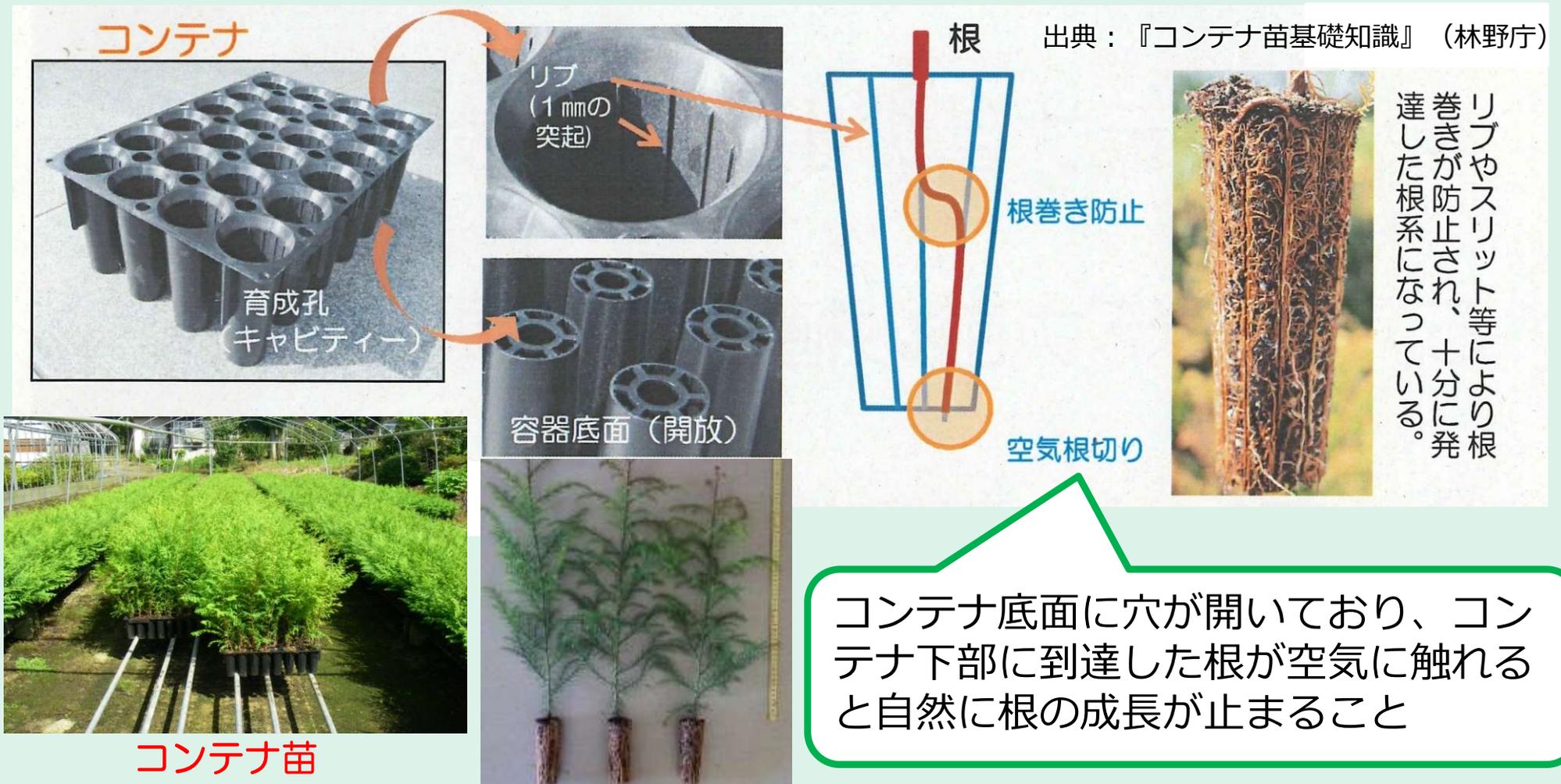


列状間伐の導入



低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

- ・ 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- ・ 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能



地域における産業振興及び 住民福祉の向上への寄与

国有林野の活用

○レクリエーションの森

1箇所316haを設定し、国民の
保健・文化・教育に活用



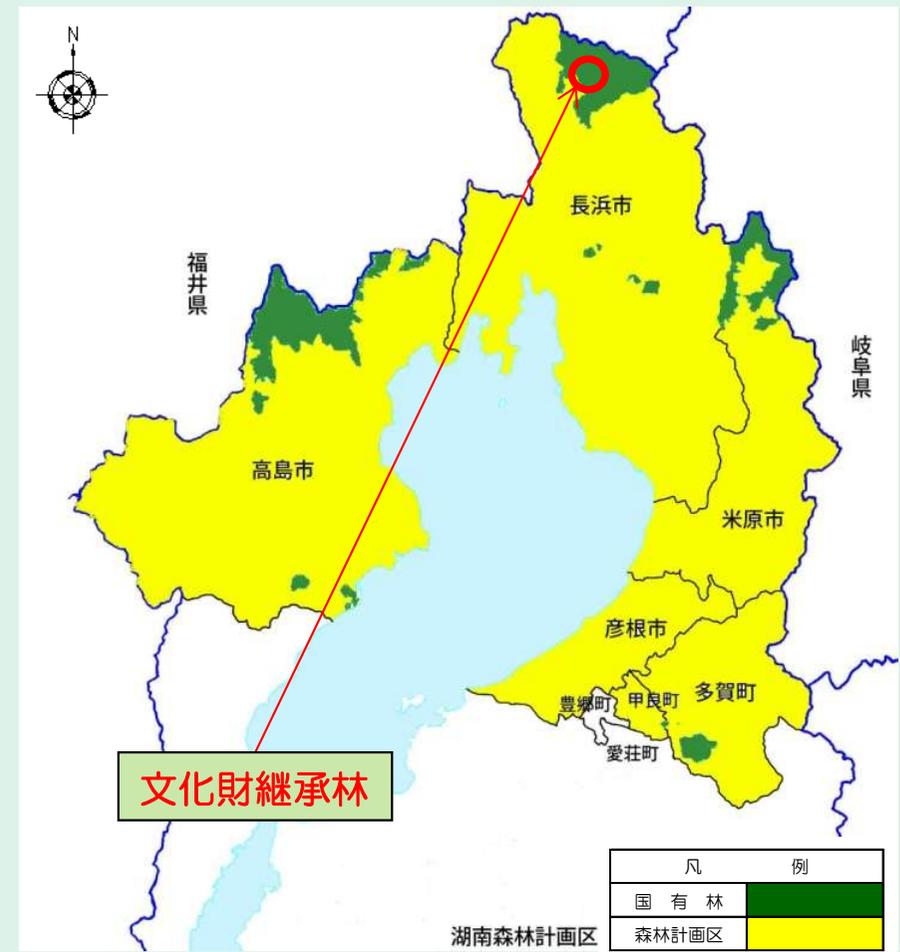
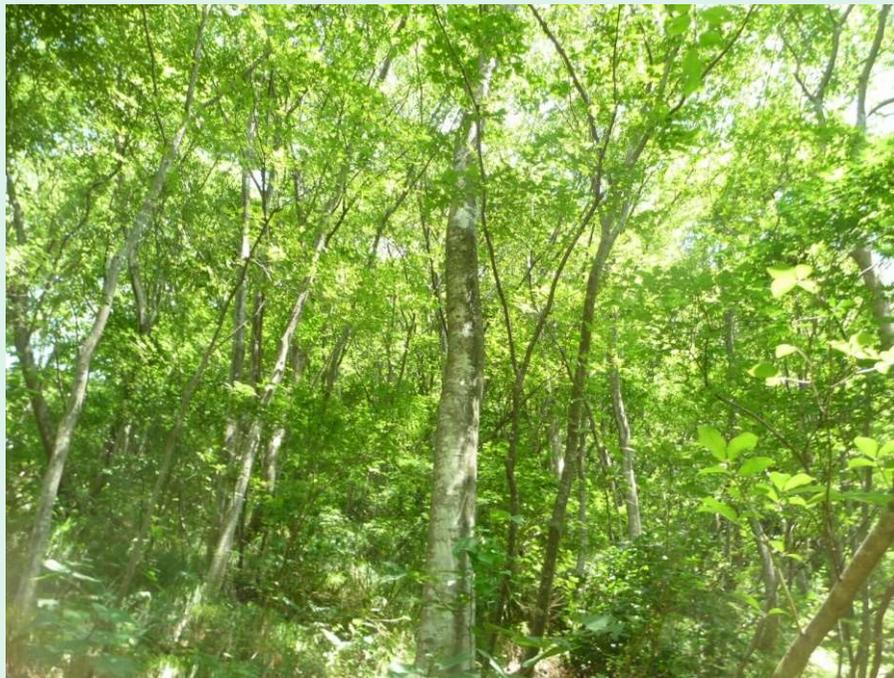
種類	名称	概要	面積(ha)
野外スポーツ地域	奥伊吹	スキーやハイキングなどの森林を利用したレクリエーションの場として多くの人々に利用されている	316.43

文化財保全への貢献

○文化財継承林

歴史的木造建造物の維持・修繕に備えて「文化財継承林」を設定しています。

文化財継承林（ケヤキ）



名称	面積(ha)	備考
文化財継承林	65.76	上谷山国有林（長浜市）

林業技術の開発及び普及 ～ 新たな技術普及に向けた取組 ～

低コストで効率的な木材生産や造林を普及させるため、関係行政機関や林業事業者などを対象とした現地検討会等を開催しています。



地上レーザースキャナによる
森林資源量調査



種苗組合視察（大苗育成状況）

国有林で作成する森林計画

